



サロン実施にあたって苦労したこと

人集めに関して

- 参加者は、村が発行する子育てカレンダーに毎月掲載してもらうことにより、幅広い居住地区の方にもPRでき、参加者も増えていきました。他の広場やサークルでの直接のPRとチラシの配布も行いました。村事業のファミリーサポートの受け入れ・お預かりの場として使えるようにした事でも利用者がアップしました。運営スタッフは2~3人で行っていますが、報酬面など整ってなく新しく増やせていない状態。他の団体でうまく行っている所に視察に行き参考になる例があり、今年度取り入れていく予定です。

活動拠点に関して

- トレセン居住地区で使える（無料であることを前提に）施設に着目し、使える曜日、他団体との交渉などで調整し現在の活動となっています。とびあ2階のスペースに関しては、とびあ側と競馬会と何度も話し合い、必要書類の提出契約などを経て使用可となりました。とびあ部分は、近隣の商業スペースにも理解を得て防音の壁（簡易的ではあるが）を設置するなど、迷惑がかからないように配慮しました。

財源に関して

- 主に会費のみ。村からの助成金と社会福祉協議会からの助成で運営。
- 他の補助金などを現在申請中。資金不足の為、10月より資源回収活動を開始しました。今年度より、村の補助金を受けて、独立したサロンとして活動予定。
- 社会福祉協議会の助成、資源回収やフリーマーケットの自主財源と会費のみで運営予定。



委員からの一言コメント

トレッコロームは、大きな体育館を貸し切って活動している特徴的なサロンでした。大きなおもちゃや、乗り物をたくさん出しても、まだまだ走り回るスペースが存分にあり、自宅では決して味わうことのできない空間です。外でしかできない鬼ごっこのような遊び

も、天気にも左右されずに、行えることも魅力です。

参加者も多く、たくさんのお子さんやお母さん同士の交流がありました。みんなで行う体操の時間も、和気あいあいとしていて、皆さん楽しそうに行っていました。お子さんが元気いっぱい、のびのびと遊んでいる姿が印象的でした。

代表者の荒井さんがとても熱心で、参加される方の身になって運営されていると感じました。何人かの協力者はいるとお話していましたが、このようなサロンをずっと続けていただきたいので、さらなる協力者の確保を願っています。（事務局 天木奈央子）

サロン開催の効果

- この様な場所ができるのを待っていた！などの声も聞かれ、利用者もかなり増えました。トレッコロームなしでは子育てできない…などと嬉しい声も聞かれます。他の広場やサークルとの交流もあり様々な情報が得られ、その情報を参加者に発信する事ができ、たくさんの人に役立っている。参加者のお友達の輪が広がったり、子供達に様々な体験をさせてあげられる場所となれていると思います。

サロン開催の課題、今後のサロン活動への想い

- 今まで何となくやっていた部分をしっかりと取り決めをしてやっていかなくてはと思います。規約や入会方法、年間計画をきちんと立てて、それに見合った会費の使い方、管理面をしっかりとやる必要があると感じています。人材も育成し、次にバトンタッチできる方が出るのを期待しています。参加者を大切に、充実したサロンになれる様に努めたいです。

